-scape
“景”をめぐって

-scape は、landscape（景色･風景）、seascape（海景）、cityscape（都市景観）、inscape（内面性）などの語にもちいられます。日本語の「景」にあたり、「けしき・ながめ」という意味です。

西洋の絵画において、風景は長くほかの主題の背景でした。17 世紀のオランダで主題として風景が描かれはじめ、19 世紀の英国においてはなひらきます。西洋の風景画の発展過程は、人が周囲のけしきとどのように向き合ってきたのか、その歴史をうつす鏡ともいえるでしょう。

今回の講座では、「-scape＝景」をキーワードにジャンルを自由にとびこえてみたいと思います。西洋美術の文脈のみならず、多様な景観を次世代に継承しようとする「ランドスケープ遺産」のとりくみ、音環境を考える soundscape（音景）、現代の写真表現における commonscapes（日常的な情景 ※講師による造語）など、それぞれの専門家からお話しいただきます。私たちをとりまく「けしき」について、多様な視点からあらためて関心を向けてみましょう。（全４回）

定員 ‖ 各回 60 名程度
会場 ‖ 佐藤忠良記念館（宮城県美術館別館）地下 1 階アート・ホール
お申込・お問合せ ‖ 022-221-2114（教育普及部直通）に電話、または直接創作室へ。
お申込期間 ‖ 令和 2 年 2 月 11 日［火・祝］～　受付時間 ‖ 9：30～17：00

※休館日 ‖ 毎週月曜日（ただし 2 月 24 日は開館）、2 月 25 日は受付できません。
※各回とも当日のお申込でご聴講いただけますが、人数把握のため、事前申込にご協力をお願いいたします。

◎アクセス

地下鉄をご利用の場合

仙台市営地下鉄東西線「国際センター駅」西 1 出口から北へ徒歩 7 分、「川内駅」北 1 出口から東へ徒歩 7 分。

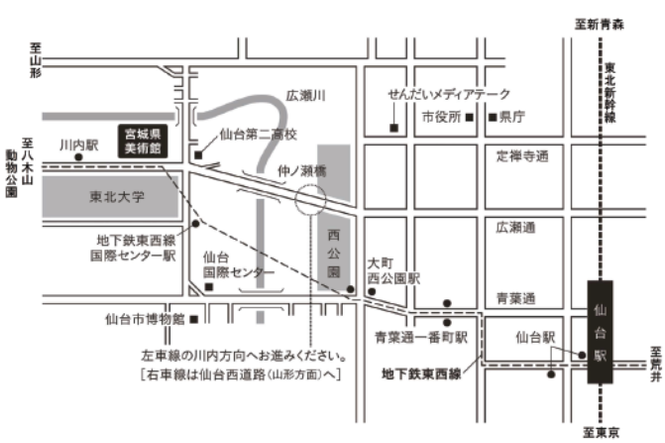
路線バスをご利用の場合

・仙台市営バス
仙台駅西口バスプール 9 番乗り場より、
730 系統：川内営業所前行
739 系統：（広瀬通経由）交通公園循環
のいずれかに乗車、「二高・宮城県美術館前」下車徒歩 3 分（仙台駅より所要約 15 分）。

・るーぷる仙台
仙台市内の観光スポットを結ぶ循環型バスです。当館の最寄りには「国際センター駅・宮城県美術館前」と「二高・宮城県美術館前」の 2 度停車します。
るーぷる仙台公式ウェブサイト　http://loople-sendai.jp/

高速道路をご利用の場合

東北自動車道「仙台宮城 I.C.」より仙台市街方面（仙台西道路）に入り、仙台城跡方面を経由して美術館へ。I.C. より約 15 分。
※駐車場は、正面駐車場と第 2 駐車場の 2 か所をご利用いただけます。



宮城県美術館
〒980-0861 仙台市青葉区川内元支倉 34-1
[Twitter] @miyagi_bijutu
[Website] https://www.pref.miyagi.jp/site/mmoa